

**国際医療経済・アウトカム研究学会(ISPOR) 日本部会
会員総会・第10回学術集会**

日時: 2014年8月29日(金) 12:30~17:10

場所: 星陵会館ホール 〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-16-2

プログラム

12:30 - 12:55 ISPOR 日本部会 会員総会

13:00 - 13:05 ISPOR 日本部会会長挨拶

福田 敬 (国立保健医療科学院)

第1部 一般演題発表

セッション1. レセプトデータの活用

座長: 鎌江 伊三夫 (東京大学大学院)・池田 俊也 (国際医療福祉大学)

■ 13:05 - 13:10 座長挨拶

■ 13:10 - 13:25 [発表(1)]

レセプトデータを用いた先発薬・後発薬の選択に関する研究

滝沢治 (京都大学大学院)

■ 13:25 - 13:40 [発表(2)]

レセプトデータからみた前立腺癌に対する抗がん剤治療の現状

國澤進 (立命館大学)

■ 13:40 - 13:55 [発表(3)]

Real world data generation using healthcare databases in Japan from the pharmaceutical industry perspective

成松綾 (バイエル薬品株式会社)

セッション2. 経済評価の意思決定への応用

座長: 坂巻 弘之 (名城大学)・白岩 健 (国立保健医療科学院)

■ 13:55 - 14:00 座長挨拶

■ 14:00 - 14:15 [発表(4)]

STA submission, Technology Appraisal Guidance に学ぶ NICE 対応の実際

荒西利彦 (中外製薬株式会社・国際医療福祉大学大学院)

■ 14:15 - 14:30 [発表(5)]

日米欧の高血圧治療ガイドラインにおける医療経済評価の活用状況について

伊藤かおる (国際医療福祉大学大学院・ヤンセンファーマ株式会社)

■ 14:30 - 14:45 [発表(6)]

誰の健康改善を優先するか? 離散選択実験による選好分析

後藤励 (京都大学)

■ 14:45 - 14:55 休憩

セッション 3. 費用・アウトカムの検討

座長: 池上 直己 (慶應義塾大学)・五十嵐 中 (東京大学大学院)

■ 14:55 - 15:00 座長挨拶

■ 15:00 - 15:15 [発表(7)]

The economic impact of Hepatitis C and its pharmacotherapies in Japan

Lynne Pezzullo (Deloitte Access Economics, Australia)

■ 15:15 - 15:30 [発表(8)]

The relative efficacy and safety of simeprevir and telaprevir in treatment-naïve Hepatitis C infected patients in a Japanese population - A Bayesian Network Meta-analysis

桑原比呂世 (ヤンセンファーマ株式会社)

■ 15:30 - 15:45 [発表(9)]

日本で実施された、薬剤を対象とした費用効用分析における健康関連 QoL 値の入手方法の調査

東美恵 (エーザイ株式会社・国際医療福祉大学大学院)

第 2 部 ISPOR 日本部会 企画

「医療経済評価における QOL 値測定」

座長: 下妻 晃二郎 (立命館大学)・福田 敬 (国立保健医療科学院)

■ 15:45 - 15:50 座長挨拶

■ 15:50 - 16:05 QOL 測定尺度の動向

能登真一 (新潟医療福祉大学)

■ 16:05 - 16:20 EQ-5D-5L の開発状況

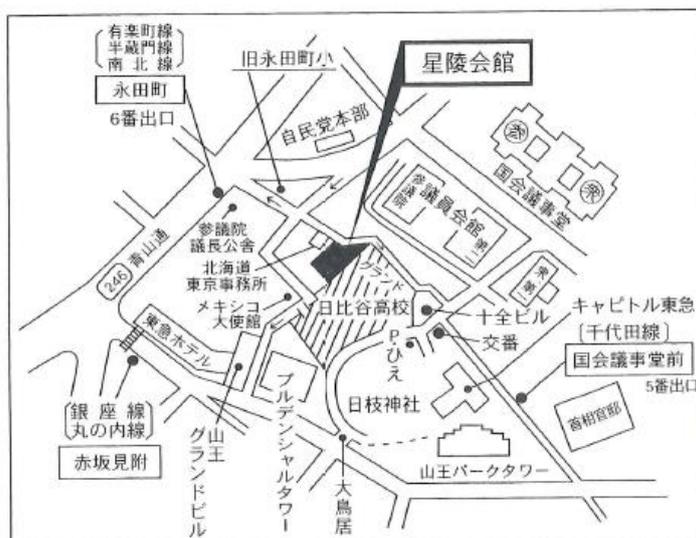
五十嵐中 (東京大学大学院)

■ 16:20 - 16:35 QOL 値に関する倫理問題

齋藤信也 (岡山大学大学院)

■ 16:35 - 17:10 総合討論

星陵会館のご案内



〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-16-2

有楽町線、半蔵門線、南北線 永田町駅下車 6 番出口・徒歩 3 分

TEL: 03-3581-5650 FAX: 03-3581-1960